

第 12 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会（建設部会）議事録（要旨）

会議名	第 12 回杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会（建設部会）
日 時	平成 18 年 1 月 22 日（月）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所	杉並第五小学校 多目的室
出席者	統合協議会建設部会委員 21 名（委員 7 名欠席）
事務局	8 名（学校適正配置担当課長、営繕課長、学校適正配置担当係長、校舎改築担当係長、担当職員 4 名）、設計事務所 2 名
傍聴者	2 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 資料説明 3 質疑応答 4 事務局からの連絡事項 5 閉会
資 料	<p>資料 1：統合新校の教育方針について（再提出） ハードと関連する新校の教育に内容について（再提出）</p> <p>資料 2：校舎基本設計にあたって</p> <p>資料 3：配置検討案（A-1, A-2, B, C,）</p> <p>資料 4：南側配置案日影図</p>

1 開会

2 資料説明

【説明】資料1：エコスクール化検討懇談会の設置について

【説明】資料2：校舎基本設計にあたって

【説明】資料3：配置検討案（A-1, A-2, B, C,）

【説明】資料4：南側配置案日影図

3 質疑応答

<部会長>

本日はいくつかの切り口に分けて、議論を行っていただきたいと思います。

最初に、校庭の位置と、地域のランドマークとしての学校という視点で議論したいと思います。

まずA-1案ですが、これは入り口の動線はどこになりますか。

<設計事務所>

南側から基本的に入りますが、北側にサブの入り口もあります。

<部会長>

給食室は地下にありますが、これは資材の搬出入や業務車両の駐車はどう行うのですか。

<設計事務所>

エレベーターが付きます。業務車両は日大二高通り側に駐車できるスペースをつくります。路上駐車ではなく、敷地の中に停められるようにします。

<部会長>

たくさん子どもたちが出入りする門については南側の方が安全かと思いますが、また、お客様を招き入れる門とサービスの門が同じにはしない方がよいかと思います。

次にA-2案ですが、A-1案と大きく違うところは普通教室が1～3階の間に収められているか、2～4階にあるかということです。

それでは次にB案をお願いします。B案の給食室はどうなっていますか。

<設計事務所>

西側の地下にあり、サービスも西側からとなります。

<部会長>

また、子どもたちの安全のために歩道が設けられていますね。それでは最後にC案をお願いします。南からアプローチすることになりますが、北側からは入ってこれないのですか。

<設計事務所>

北側から出入りできるように計画することもできますが、今回の案では設けておりません。

<部会長>

給食室はどちらですか。

<設計事務所>

北側にあり、サービスも北側からになります。

<部会長>

そうすると、北側に来客用の出入口などを設けますと、やはりサービスと動線が重なってくることとなりますね。

それでは次に日影図をご覧ください。杉並区も東京都も校庭の芝生化を熱心に考えている中で、この北側が校庭になっているB案は検討の対象から外してもよいかと考えますが、皆様いかがでしょうか。

<委員>

よろしいと思います。

<部会長>

ありがとうございます。それではA案とC案について重点的に議論してまいります。

C案のように南側に校庭を配置する案がありますが、ここに私の私案があります。子どもたちの流れは安全な南側から、地域の方々やお客様が来られる時は日大二高通り側から入ってこれるように玄関をつくるのがよいと思います。

それではここまでで何かご質問などございますでしょうか。

<委員>

北側に校舎を配置する案は前回の時点では不可能なように見えたのですが、なぜ可能になったのですか。

<学校適正配置担当課長>

南側校庭配置については、他の案と比べて校庭の面積や形状が少し劣ることから前回は案を作成しませんでした。前回に委員の方々から、「校庭は南側にあるのがよい。」というご意見をいただきましたことや、部会長からもご提案があったことから、今回作成いたしました。

また、校庭面積が他の案と比べて狭くなってしまうことの他に、近隣の問題がございます。現在の建物は昔の法規制の緩い時期に建てられたものでして、建て替える場合には現在と同じように建てることはできません。4階建てを建てる場合、相当に南側に寄せなければなりません。また、3階建てであっても北側に校舎を配置した場合、近隣に与える影響は相当なものと考えます。

<部会長>

C案は確かに校庭の形状が狭いですが、2階がせり出している真下の部分もある程度校庭として使えると思います。

<委員>

前回よりも若干延床面積が減っていますが、これは高さを抑えるために、どこかの部屋を削ったりしたのですか。

<学校適正配置担当課長>

所要室は満たしています。

<委員>

東側の道路からの給食のサービスというのは可能なのですか。また、地下の部分は全体の建築面積の半分しかありませんが、何か理由があるのですか。

<部会長>

地下化というのはコストが多くかかります。また、ドライエリアという空掘りの部分をつくらなければなりませんので、それによって校庭の面積が縮小されてしまうということもあり、

できるだけ最小限にとどめたいというところがあると思います。

<学校適正配置担当課長>

東側の道路は私道ですので、給食のサービスなどは北側から行いたいと考えます。

<委員>

校地全体の敷地面積が6,500㎡と書いてありますが、6,600㎡ぐらいではなかったでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

飛び地も含めると6,600㎡程になります。

<委員>

道路についてはこのままの幅で構わないのですか。

<学校適正配置担当課長>

はい。東側は既に区側は後退しております。南側については道路が既に認定の幅員はとれておりますので、そのままになります。北と西もそのままです。

<委員>

C案についても4階に普通教室を持ってこない案を作成していただけますでしょうか。また、来賓と児童の入り口を別々にすることを考える必要はあるのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

小学校は校務センター(職員室)は1階にないと不安です。中学校の場合は2階にあります。校務センターが1階にある中で普通教室も持ってくるとかなり窮屈な感じになると考えます。

それから入り口の話ですが、杉並区の学校はあまり敷地面積が広くないので、子どもたちの入る門と給食サービスの門が同じになっているところが多々ございます。現在の杉並第五小学校、若杉小学校もそうになっています。また、子どもたちの登校の時間と給食の搬入の時間は時間的に分ける工夫をしております。動線的に分けるのが理想ではございますが、その敷地の形状、大きさによっては一体でつくり、時間帯で分けるなどの運営面によって対応したいと考えます

<部会長>

地域開放の入り口も同じになる場合が多いのですか。

<学校適正配置担当課長>

そうなります。

<委員>

法令上、この敷地に4階の建物は建つのですか。また日影規制などは大丈夫なのですか。

<学校適正配置担当課長>

提出している案はどれも法規制をクリアしております。日大二高通り側は法令上で言えば、4階よりも高い建物が建てられます。また、資料の中で緑色に塗られている部分は高さ制限がございますが、学校は許可制度により高さ制限を緩和することができます。ただ、学校ですので、子どもたちの安全や近隣への影響を考えますと無制限に高くすることはなく、4階建てぐらいまでとなります。

<部会長>

設計事務所からは何かございますか。

<設計事務所>

校庭面積についてですが、A-1案とA-2案を見ていただくとわかりますが、A-1案で普通教室を4階に配置せず、1階に配置しますと、A-2案より校庭面積が200㎡程縮小されているのがわかります。これと同じようにC案におきましても、普通教室を4階に配置しない案を作成しますと、今よりも校庭が縮小されることとなります。

<委員>

C案の2階部分が張り出している下の部分は、たとえば運動会で父兄などが座ったりするようなスペースとして使うことは可能ですか。

<設計事務所>

はい。

<学識経験者>

学校の顔がどこになるのか、どうやって顔とするのか説明をいただきたいと思います。また、飛び地についてですが、主要な門が北側だったりすると、飛び地に行くために北から出て、ぐるっと学校を回って飛び地にいかなければならず、使用頻度も低くなると思います。そういったことも考え、飛び地に近いところに正門を置いて、飛び地と合わせて正門が学校の顔となるように工夫するのも一案かと思います。

それと景観的に何かお考えになっている部分があればお教え下さい。

<設計事務所>

本日お出ししましたどの案についてもメインの入り口は南側の道路から入るものになっています。南側は飛び地もありますので、南側を学校の顔として位置付け、プランを練っていくように考えております。

<委員>

この設計方針にはいろいろなことが含まれておりまして、建築として全て達成するのは不可能だと思います。その中で一番優先されるべきことは1番の項目だと考えます。日常子どもたちがどのように学校を使っていくのか、これが最優先だと思います。2、3、4はその次に優先すべきことだと思います。何を優先すべきか考えを持って進めていかなければなりません。

<学校適正配置担当課長>

子どもたちの教育環境をどう整えるかということを考え、教室をどう置くか、こだま学級との連携をどうとるか、子どもたちの安全を考えると1階は管理諸室のみにした方がよいか、校庭面積は十分なのか、使いやすさはどうなのか、その辺りが一番メインになるかと考えますが、人によって優先順位をどこに持つかということは分かれると思います。

最低限押さえなければならないことは、校庭面積を若杉小にできるだけ近づけることと、普通教室だけではなくて、大小のいくつかの教室形態に対応した部屋があるとよいこと、このあたりだと考えます。

<委員>

必要な時だけ開けるといふ門をいくつか作っておくのは可能でしょうか。また、北西側の信号のところだけ角を切っていないですがそのままよろしいのですか。また、もしA案のように建物を配置した場合に信号の見通しや信号待ちの人のスペースはどうなるのでしょうか。

<部会長>

角切りについては確かにそういったご意見があったということを事務局で記録しておいていただければと思います。門については登校時に複数の門を開放するなど、いろいろやり方があると思います。

<委員>

こだま学級については、アリーナの隣など子どもたちが多く通行する場所の近くにあったりすると、日常生活を崩されやすいかと思いました。こだま学級の配置についてはぜひ現場の先生の意見をお聞きになっていただきたいと思います。

<委員>

A-2案について、2階部分は外階段になりますが、1階部分には何もないと思うので、自然観察園の正面に校門をもってくることは可能ではないでしょうか。また1階の平面だけトイレの表記がないですが、表記されていないだけですか。

<部会長>

今日は大まかな校舎と校庭の配置を議論するための資料ですので、そういった観点で見ただけだと思います。表記されていないようですが、トイレは1階にも付きます。

<委員>

資料で名前が入っていない部屋は何に使うのですか。

<設計事務所>

今回の資料は校舎と校庭がどの辺りに配置されるかということ議論していただくためにお示ししたものです。建物の配置だけでは分かりづらいと思いますので、職員室やアリーナなどメインになる部屋に付きましては名前を表記しています。

<委員>

必要な諸室は全て入るのですか。名前が入っていない部屋は自由に使える部屋なのですか。たとえば体育館に付属している部屋は何ですか。

<設計事務所>

必要な諸室は満たして案をつくっております。体育館に付属している部屋は器具庫です。他

の部屋は印刷室や会議室などです。

<部会長>

それでは次に普通教室の配置についてご意見をいただきたいと思います。たとえばA-1案では1～3階に、A-2案では2～4階に配置されていますがこのあたり皆様いかがでしょうか。

<委員>

幼稚園の年長さんは2階に居たりしますので、1階に必ずしも1年生を置かなければならないということはないと思います。

<委員>

前回議論になったのは、1階に置くかどうかではなく、4階に置くのは防災上、危ないのではないかということです。

<委員>

そうすると震災時に3階と4階はどれだけ危険度が違うのでしょうか。

<学校適正配置担当課長>

杉並区の小学校では3校程、4階に普通教室がございます。ただ、それは3階までに普通教室が入りきらなかったためにそうなっているものです。やはり出来るだけ低い階に配置するのがよいと思いますが、杉並第五小の副校長先生が前任の区ではほとんど4階にも普通教室があったとおっしゃっていますように、地域によっていくらか差があるかと考えます。

<委員>

震災時に3階から逃げるのと4階から逃げるのはかなり違うと思います。4階の前例が杉並区や他の区にあるということは私は関係ないと思います。統合新校はなるべく子どもの普通教室を低い位置において、安全に努めているということが出来るならば、そういうふうにしていただければと思います。

<委員>

ただ、そのために校庭が200㎡狭くなってしまいます。校庭を狭くするか、子どもたちを

4階に置くかの二者択一になっています。ですから4階に子どもが居ても災害時に上手く脱出できるような工夫をするというような方策はとれないのでしょうか。

<設計事務所>

4階に普通教室を設ける時には、東京都の安全条例から、避難距離の制限や排煙設備を設けることなど、3階までに置く場合よりも1ランク上の安全性を求められる形となっています。

<営繕課長>

介護施設などで避難が大変な時によく使われる手法はベランダをまわして、そこから避難できるようにするなどの工夫があります。高層マンションなどでも避難用に狭いベランダをまわしていたりします。避難だけを考えると、確かに4階より3階の方がよいかもしれませんが、そういった避難のための手法もあります。

<委員>

高層階の子は外に遊びにいかないという話もありますので、できれば低い階に、安全な場所で子どもたちに生活してほしいと思います。

また、他の学校に行った時に4階は何か揺れるような気がしました。新しい建物はそういったことはないと思いますが、普通教室は4階に置かないでほしいと思います。

杉並第五小の副校長先生は4階に普通教室のある学校を経験されているそうですが、ぜひご感想をお聞かせ下さい。

<杉並第五小副校長>

私は逆に今まで居た学校は全て4階に普通教室がありましたし、1階は心身障害学級が入っていることが多かったので1年生は2階に居ることが多かったです。

<部会長>

それでは次に地下利用の話に入りたいと思います。地下は夏は涼しく冬は暖かいのでプランの中で機械室などが配置されているのはよいと思います。ただ、もっと積極的な地下利用を考えますと、音楽室や図工室など音の出やすい教室を地下にもってこることも一案だと考えます。

ランチルームは思い切って4階に持ち上げて、気持ちのよいところで食事をとってもらおうとか、防災倉庫は地下になくはならないということはありませんので自然観察園のところに置いて、地域の方からも認知していただくようにするとか、いろいろなことが考えられますが皆

様いかがでしょうか。

また、光の庭を地下にとっておりますが、これによって風の通り抜け道ができたり、光が入ってきたりするのでよいと思います。

<委員>

機械室というのはどういった機械が入るのでしょうか。この広さが必要なのですか。

<設計事務所>

空調設備などの機械が入ります。

<委員>

この新しい校舎の機械設備を考えてこの広さをとっているのですか。区長の方針では冷房は入れないということですが。

<学校適正配置担当課長>

現校舎では電気の受変電設備などいろいろな機械を外に置いています。そういったものを新校舎ではこの機械室に入れる予定です。エレベーターの非常電源や空調関係、雨水利用の設備などいろいろな機械がでてまいりますので、多少なりとも大きめに広さを見ておかなければならないと考えます。

<委員>

このように狭い校地ですと地下利用は非常に重要だと思います。資料室や倉庫などもつくっていただければと思います。音楽室については、タイコの音などかなり気をつけていて、閉め切ったりとか、近隣の方にご挨拶にいたりしています。ですから音楽室については地下に入れるなどして防音環境をしっかり整えてほしいと思います。

<委員>

こだま学級の子どもたちは音楽室などの特別教室を使用する機会はあるのですか。

<若杉小校長>

こだま学級の子どもたちが特別教室を使うことはほとんどありません。ただ、音に敏感な子どももおりますので、保健室やアリーナなどが隣にある場合はどうか、ということをごだま学

級の先生方に聞いておこうと思いますが、地下に音楽室を置く場合などはこだま学級との位置関係などを考える必要も出てくるかと思います。

また、足の悪い子どももおりますので、こだま学級を1階に配置することは必須であると考えます。

<部会長>

コストとの兼ね合いにはなりますが、遮音性というのはつくり方次第で整えることができます。また、音楽室だけでなく、資料や器材を多く収納するスペースが必要な理科室を地下に入れてもよいと思いますし、地域開放用の会議室などもドライエリアから光が入ってくるので全くの地下ではありませんし、静かな環境で会議が出来るということで地下に入れてもよいと思います。メモリアルホールと会議室を兼ねて、同窓生がいつでも集まれるようにしておくとか、体育館より小さく、教室より大きい、広々とした多目的室を地下につくって、ダンスの同好会に開放しているという学校もありましたが、そういったものをつくるというのもひとつの考えだと思います。

<若杉小校長>

以前世田谷の学校で、地下に会議室を持ってきているところがありまして、ある程度採光はとっているのですが、昔の建物ですので湿気が厳しい状況にあるということを知っています。今の建物のドライエリアではそういった湿気などについてはクリアすることができるのでしょうか。

<部会長>

湿気対策というのは重要な課題ですので、今は大分技術が改良されてよくなってきていると思います。注意をして設計すれば、可能なことだと思います。

<委員>

A案などについては南北の風が通りにくくはないでしょうか。

<設計事務所>

風通しに必要な吹き抜けや光庭を設けることによりまして、自然換気ができるような計画を検討しています。

<委員>

そういった光庭などの面積が小さいような気がします。これは大丈夫ですか。

<部会長>

自然換気については縦方向へ風を通すという手法がありまして、大学などでは既にそういった形で行っているところもあります。そういった意味ではどの案でも可能かと思えます。

<委員>

A-1案について質問なのですが、屋上で利用できる部分はどのぐらいあるのですか。

<設計事務所>

図面の色のついた部分が屋上として利用できる部分になります。プールになる部分は紫色に塗ってありますが、実際にプールの大きさとしてこの塗ってある部分3分の2ぐらいになりますので、残りの部分は屋上として使えることになります。

<委員>

屋上プールの上にも屋根はつくのですか。

<設計事務所>

プールには観覧席を設け、その上には屋根がつくと考えます。

<学校適正配置担当課長>

コストとの兼ね合いにもなりますが、4階建ての建物を建てて、その上に屋根付きのプールを置いた場合に近隣への日影の影響というのが大きくなるということもあり、現在区内の小学校で屋上プールがあるところでは、屋根が付いているところはございません。この統合新校の屋上プールについても、全面に屋根を付けることは考えておりません。

<委員>

校庭が狭い分、屋上で補えればと思いますので、屋上の利用可能面積はできるだけ広く確保していただければと思います。

<部会長>

オープンスペースの隣に、廊下のスペースがとられていますがこれは必要なのでしょうか。

<設計事務所>

オープンスペースが通過動線にならないように、廊下を設けています。

<部会長>

全体の面積も絡むことなので、よく検討していただければと思います。

また、よいなと感じた事例の中で、低学年の庭と中・高学年のスペースを分けている学校がありました。このA案の場合にたとえば廊下の部分を削って2 m程北側に下がるだけでも、南側に低学年の児童が教室から直接少し外に出て活動するスペースがつかれるのではないかと思いますので、検討していただければと思います。

<学識経験者>

資料2の設計方針の中で、計画が進む中で、できないものが出てくるとは思いますが、そういったものがあれば教えていただきたいと思います。

屋上に子どもたちが運動できるスペースを確保するとありますが本当に可能なのか、見通しのよい計画というのはどの辺が課題になるか、地域のランドマークとして思い出に残るような外観というのはどういうものなのか、既存樹木をできる限り伐採しないというのはどういうものか、そういったところを具体的にしていきたいと思います。

また、飛び地についてですが、学校の取り組みや地域の取り組みと関連したものとしていただきたいと思います。先程部会長がおっしゃったように防災倉庫をつくるのもよいかと考えます。たとえばマンションの計画でちょっとした畑のようなものをつくり、マンションにお住まいの方が自分たちで緑を育てて飾っていくとか地域の方に配っていくなどの例もあります。

飛び地に何をつくるかよりも飛び地で何をするか、というソフトの部分を考えながらご検討いただきたいと思います。。

<部会長>

飛び地の自然観察園というのはひとつの案ですので皆様から様々なご意見をいただいて、今後につなげたいと思います。

それでは皆様から一言ずつ、ご意見を頂戴できればと思います。

<委員>

今日も色々な意見がありましたが、それらを十分に勘案して設計していただきたいと思いません。

<委員>

様々な意見が出ていますが、私はA案のような配置になるのではないかと思います。北側の日大二高通り側は正門としては非常にふさわしくない場所です。車や自転車の通行が多く、歩道の幅も狭いです。ですから学校の顔としての正門は南側がふさわしいと考えます。

また、グラウンドの広さはA-1、A-2案で200㎡も違います。ですから子どもたちの体育環境を考え、少しでも広いA-2案をとっていただきたいと思いません。

それと、北西の信号側ですが、塀などは低めにし、学校が見えるようにしていただきたいと思いません。

<委員>

私はグラウンドの広く取れるA-2案がよいと思っています。

<委員>

私もグラウンドと屋上の広さのあるA-2案がよいと思いません。A-2案は昇降口の前に広がっているスペースがある点もよいと思いません。

<委員>

私はA-2案と、校庭が南側のC案がよいと思いません。また、普通教室の配置についてですが、中学校は4階にも普通教室がありますし、私立ですと5階で生活することもあります。4階に普通教室を置くと抽象的に危険だというのはわかりますが、校庭面積との比較考量をいたしますと、4階に普通教室を置くのはやむを得ないと思いません。

<委員>

A-1案でも現在の若杉小よりも100㎡広いので、私は校庭面積が200㎡広いことに固執しなくてもよいと思いません。次回の協議会の際に若杉小の校庭に200㎡の違いをライン引きをして示していただけると分かりやすいと思いません。

<委員>

親として校庭で運動会を参観する時のことを考えていました。校庭が広いにこしたことはないですが、やはり子どもたちが安全で快適に過ごせる環境を第一に考えていただきたいと思います。

<委員>

私はグラウンドの広さが一番気になりますので、A-2案がよいと思います。また、地下の有効利用をもう少し具体的に考えていってほしいと思います。あと、風とみどりのエコスクールということで、敷地内の緑がどのぐらいのボリュームになるのか、どのように風が通り抜けて、子どもたちが快適に過ごせるのか、そのあたりをもう少し具体的にしていただけたらと思います。

<委員>

私はC案がよいのではないかと思います。A案は校庭が南北に長いのが冬の日照の点で気になります。C案は校庭の広さは若杉小よりも少し狭くなりますが、南側にとれているのでよいと思います。C案は採光、通風の面でも良いと思います。

地下については、もう少し広くして、機能を考えてもっと部屋を地下に持ってこれればと思います。

C案は日影規制が厳しいですが、上手くまとめられていると思います。また、A案は壁が斜めになっている部屋が多く、そういう部分は使いづらいと考えます。

<委員>

グラウンドを広くとるところを優先させるとA-2案だと思います。屋上も広くとれるので運動するスペースがかなりとれると思います。A-1案はA-2案よりグラウンドが狭くなる、屋上も狭くなる、しかし児童の避難を考えると4階に普通教室を置かなくて済むのでよい、というように思います。C案は風の通りを考えるとよいと思いますが、グラウンドが狭いと思います。

地下を充実と屋上のスペースの確保は十分に考えていただきたいと思います。

<委員>

A案の200㎡の差というのは確かに違うと思いますが、A-2案にしたからといってものすごく広いグラウンドになるということではないですし、運動会など、全校生徒が一斉にグラウンドを使うという機会は一年間に何回もないことを考えますと、そこまでこの差にこだわる必要

はないかと思います。それよりも子どもの日常の安全面ということを重視して考えたいと思います。A-1案は1階部分がかかなり窮屈に見えたりしますが、その分2, 3, 4階の内部がかかなり余裕を持ってつくられているように思います。

<委員>

見通し、死角の観点から意見を述べさせていただきますと、A-2案が事務室から昇降口を見たときの死角が少ないのでよいと思います。C案ですとトイレなどで事務室からの見通しに死角ができています。

それから、日大二高側の門周辺のスペースもA案の方がC案よりも広く、利便性に富んでいるのではないかと思います。

また、採光・通風については光庭と吹き抜けによって十分に考慮されているのではないかと思います。

<委員>

私は一番重視していただきたいと考えますのは景観の問題です。北から、南から、東から、西から、地域の方々、保護者の方々がこの学校を見て、ここに子どもを行かせたいと思うような学校にしていいただきたいと思います。

また、学校は災害時の避難場所になります。そういった観点からも体育館の入りやすさ、門の入りやすさ、校庭の広さなどを考えていただきたいと思います。

それと、雪が降った時のことを考えると、日当たりがよく雪が早く解けるC案がよいかなと思います。

<委員>

防災面、防犯面を重視して検討をしていただきたいと思います。

<杉並第五小主幹>

図面上にはまだ描いてありませんが、校庭に鉄棒などの遊具が入ってくることを考えると、子どもたちの日常的な運動を考え、A案がよろしいのではないかと思います。

<杉並第五小副校長>

日大二高通り側の信号の現在の状況を考えますと、ある程度日大二高通り側にはスペースをとる必要があるかと思っています。また、近隣の日照のこともあります。それらの条件を全てクリ

アできるのであれば、建物配置としてはC案がよいかと思ます。

それと、C案についてもA案と同様に4階に普通教室を置かない場合の案を作成していただきたいと思ます。

<部会長>

皆さんご意見ありがとうございました。今日いただきましたご意見を踏まえ、案を修正していただければ、次回、もっとそれぞれの案の違いが表れてきて、絞込みが行えると思ます。

<学校適正配置担当課長>

A案につきましては、4階に普通教室を配置するかしないか、校庭面積が2,500㎡か2,700㎡か、そこをご判断だと考えます。

C案につきましては、4階に普通教室を配置せずに案をつくることができるか、なおかつ2,240㎡の校庭をもう少し広げることができるかどうか、などの点についてご意見がございましたので、そのあたりを次回に提示し、案の絞り込みを行っていただきたいと考えます。

<委員>

校庭面積についてですが、数字では実感が沸かないので、実際に校庭にライン引きをして面積の違いが分かるようにしていただけますでしょうか。また、区内の他の小学校の面積を教えてください、比較がしやすいです。

<学校適正配置担当課長>

それでは、区内の小学校の校庭面積を調べまして、お知らせいたします。また、次回は若杉小学校で協議を行いますので、校庭にライン引きをいたします。

<部会長>

ありがとうございました。今日はここまでといたします。

4 事務局からの連絡事項

次回は2月19日(月)若杉小1階会議室で行います。

5 閉会